

第5編 地域別計画

東部地域

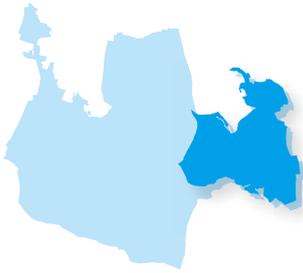
北部地域

南部地域

西部地域

東部地域

東部地域のデータ

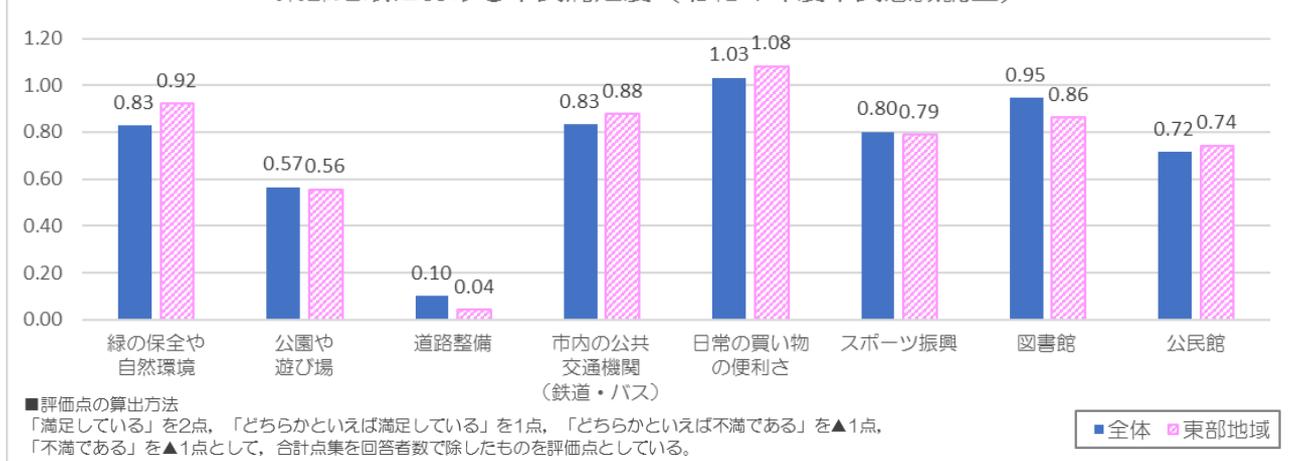


地域範囲	菊野台1～3丁目，東つつじヶ丘1～3丁目 西つつじヶ丘1～4丁目，入間町1～3丁目 仙川町1～3丁目，緑ヶ丘1～2丁目 若葉町1～3丁目
地域人口	60,063人（令和5年1月1日現在）
地域世帯	32,116世帯（令和5年1月1日現在）

東部地域の現状と課題

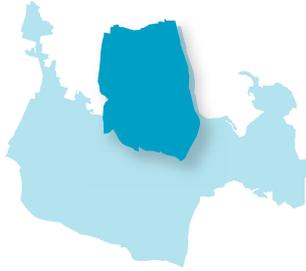
- 東部地域は、都心に近い交通の利便性と仙川や野川の水辺環境に加え、農地や崖線の緑に恵まれたうるおいのある都市環境を有する地域です。
- 桐朋学園や白百合女子大学、武者小路実篤記念館やせんがわ劇場などの教育文化施設が立地するほか、仙川商店街をはじめ商業施設の集積度も高く、にぎわいと文化芸術を身近に感じられるまちづくりが進んでいます。さらに、スマート農業・ドローン・eスポーツなど様々な分野の先端技術を実証・体感できる施設がNTT研修センタ内にオープンし、様々な分野におけるICTを活用した新たな共創や地域・産業のDX化、創業支援など、地域課題の解決に向けた市や民間事業者等との連携が期待されます。
- 令和3年4月に、踏切道改良促進法に基づき、仙川駅から国領駅間の5箇所の踏切が改良すべき踏切道の指定を受けたことから、国や東京都、鉄道事業者との協議、調整を図りながら、仙川駅から国領駅間における連続立体交差事業を促進し、東部地区における交通環境の改善に取り組んでいく必要があります。
- 市民意識調査では、「緑の保全や自然環境」に加え、「市内の公共交通機関」「日常の買物の便利さ」に対する満足度が高く、生活面での利便性が評価されています。

東部地域における市民満足度（令和4年度市民意識調査）



北部地域

北部地域のデータ

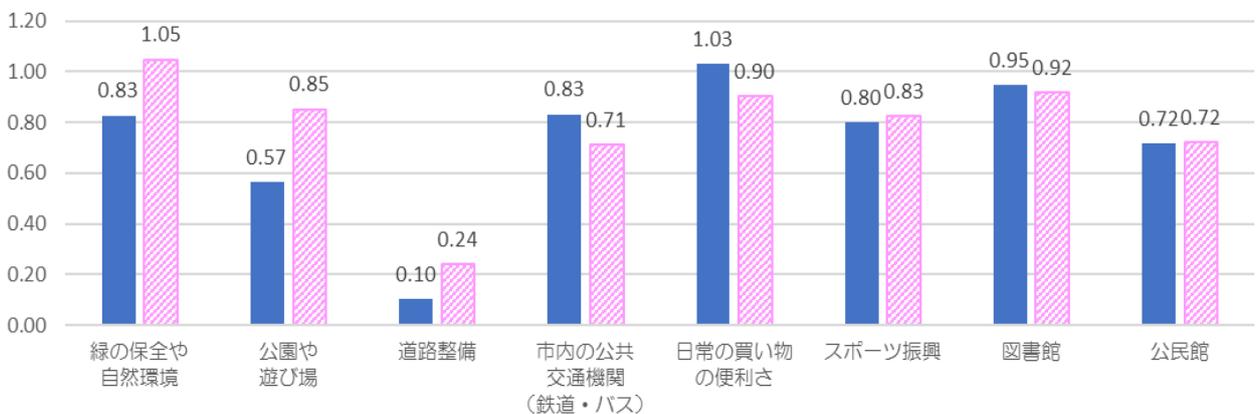


地域範囲	佐須町1～5丁目，柴崎1～2丁目 調布ヶ丘3～4丁目，深大寺元町1～5丁目 深大寺北町1～7丁目，深大寺東町1～8丁目 深大寺南町1～5丁目
地域人口	50,391人（令和5年1月1日現在）
地域世帯	23,034世帯（令和5年1月1日現在）

北部地域の現状と課題

- 北部地域は、深大寺周辺の武蔵野段丘と崖線により、自然の樹林が広がる緑豊かな住宅市街地が形成された地域です。深大寺・佐須地域においては、都市農地や用水路、国分寺崖線の緑や湧水等の水辺がありなす景観により、市内で数少ない武蔵野の面影を残しています。また、都立神代植物公園などの広大な緑地が市民や訪れる方の憩いの場となっています。
- 平成25年4月にふじみ衛生組合（構成市：調布市・三鷹市）を事業主体としたごみ処理施設（クリーンプラザふじみ）が本稼働しました。また、平成31年4月に新クリーンセンターが本稼働し、ごみ減量と資源化の取組について、一層の推進を図っています。
- 令和4年4月、クリーンセンター跡地に、公民連携事業による公共・商業の複合施設「ランチ調布」が開業し、市は同施設内に老人憩の家及び集会室機能を備えたふじみ交流プラザを開設しました。
- 市役所や鉄道駅から比較的離れた地域であり、バスなどの公共交通の充実や公共施設の配置など、地域の利便性向上が課題となっています。地域住民及び各関係機関との協議を踏まえ、令和4年1月からワゴン車を活用した沿線地域を中心とする巡回公共交通の実証実験を実施しました。今後も利用者ニーズを把握しながら、対象地域の交通利便性の向上と交通不便地域の解消につなげていく必要があります。
- 市民意識調査では、「緑の保全や自然環境」、「公園や遊び場」について他の地域と比べて満足度が高く、深大寺や都立神代植物公園、崖線の緑などの自然環境が高く評価されています。一方、「市内の公共交通機関」や「日常の買物の便利さ」など、生活面での満足度が低く、利便性の向上が求められています。

北部地域における市民満足度（令和4年度市民意識調査）



■評価点の算出方法
「満足している」を2点、「どちらかといえば満足している」を1点、「どちらかといえば不満である」を▲1点、「不満である」を▲1点として、合計点集を回答者数で除したものを評価点としている。

■全体 ■北部地域

北部地域におけるまちづくりの方向

◆豊かな自然環境の保全

緑や河川、湧水などの恵まれた自然環境を生かし、残された武蔵野の自然や歴史にふさわしい景観を創出するとともに、武蔵野の面影を次世代に継承するため、多様な主体との連携・協力による崖線樹林地等の保全に取り組みます。深大寺元町特別緑地保全地区における保全管理計画を策定し、取組を推進します。

◆ごみ処理施設周辺のまちづくり

北部地域における市民サービスの充実や市民活動の発展促進など、総合的な観点からまちづくりを推進するため、クリーンセンターの移転後の跡地に公民連携事業により「ランチ調布」が開業しました。当該施設を有効活用し、地域住民との連携・協働による北部地域における多世代交流や市域を越えたコミュニティ活動の発展のほか、高齢者の健康増進に向けた拠点となるよう運営していきます。併せて、クリーンプラザふじみを拠点としたイベントや花いっぱい運動など、地域の参加と協働による取組の推進とともに、地域の防災・防犯活動の支援や道路の安全対策、公共交通の利便性向上に向けた検討など、地域の課題解決を図るため、地域と共に取り組みます。

◆深大寺地区のまちづくり

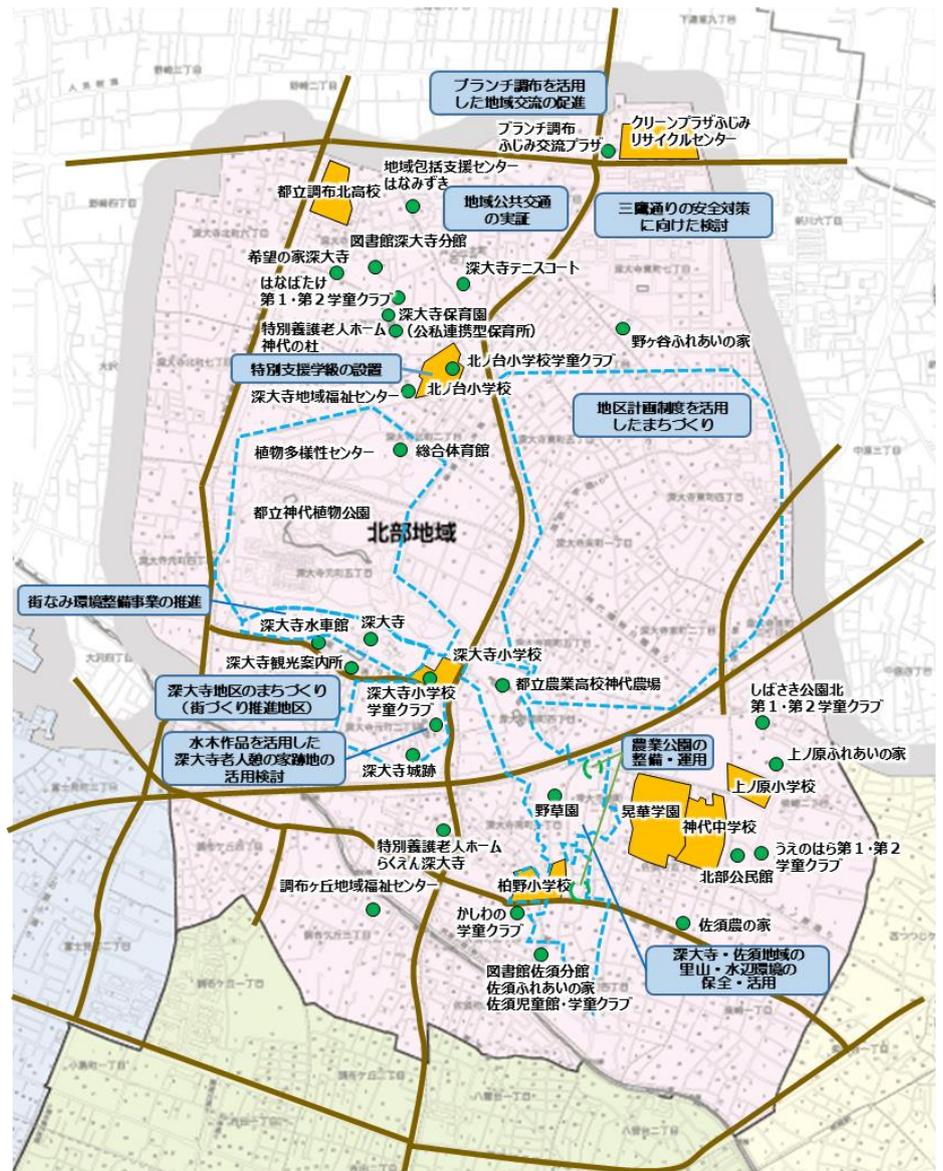
深大寺地区周辺の街なみ景観の維持、向上を図るため、地域と連携を図りながら、地区住民による街づくり協定の円滑な運用を支援し、調布市深大寺地区街なみ整備基本計画に基づき、武蔵野の自然と歴史・文化を継承する街なみ景観づくりに向け、街なみ環境整備事業を推進します。

◆深大寺・佐須地域の環境資源の保全・活用

調布市の貴重な地域環境資源である深大寺・佐須地域の里山・水辺環境については、市民との協働により、雑木林の保全や田園風景の保全などを推進するとともに、都市農地の維持・保全に向け、地権者との合意形成を図りながら、良好な地域環境の維持・保全・活用に向けた取組を進めます。

◆地域資源を活用した深大寺老人憩の家跡地の利用

深大寺老人憩の家の移転後の跡地について、地域資源を活用した観光振興・地域活性化に向けた取組を検討、推進していきます。



「この地形図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺 1/2500 地形図を使用して作成したものである。」

南部地域

南部地域のデータ

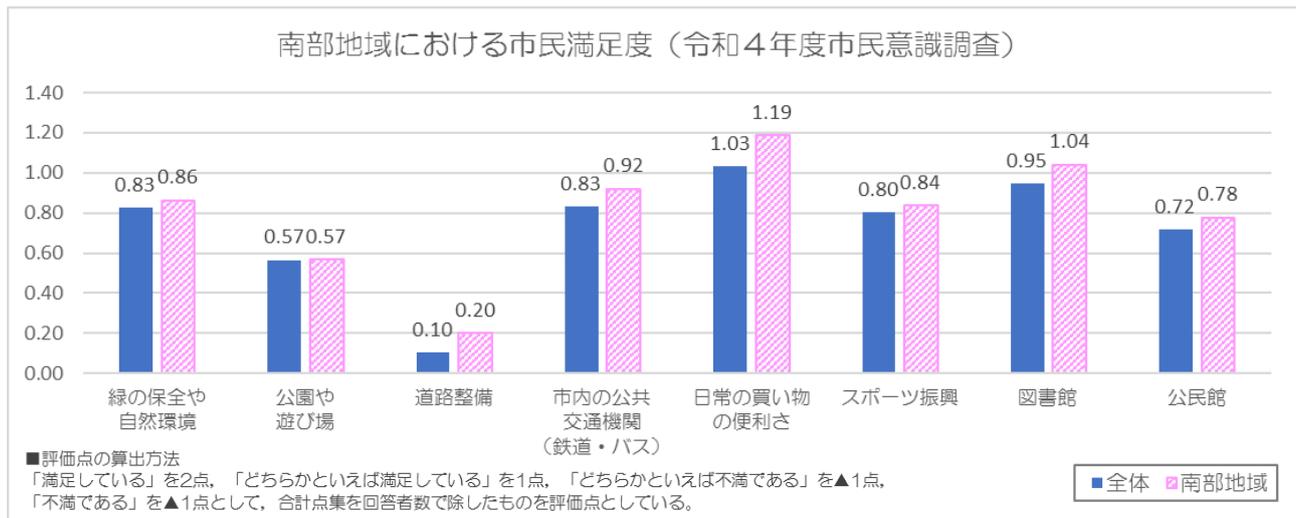


地域範囲	小島町1～3丁目，布田1～6丁目 国領町1～8丁目，染地1～3丁目 多摩川3～7丁目，調布ヶ丘1～2丁目 八雲台1～2丁目
地域人口	85,885人（令和5年1月1日現在）
地域世帯	45,907世帯（令和5年1月1日現在）

南部地域の現状と課題

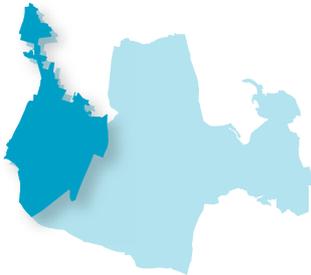
- 南部地域は、京王線調布駅を含む4駅が中心市街地を形成しています。公共公益施設や商業・業務施設など、まちの主要な都市機能が集積している地域でもあります。
- 平成24年8月に京王線の地下化が実現したことにより、道路交通の円滑化や歩行者・自転車の安全性の向上、鉄道により分断されていた市街地の南北一体化など、市の都市構造が大きな変貌を遂げました。また、調布駅周辺では、平成29年9月にシネマコンプレックスを含む3館の複合商業施設「トリエ京王調布」がオープンし、市内外から多くの方が調布のまちを訪れ、新たなにぎわいが創出されています。
- 調布駅周辺地区については、魅力ある中心市街地の形成に向けて、都市機能の集積を図る必要があります。特に、調布駅南口中央地区においては、商業・業務地区にふさわしい市街地整備を推進するため、住民発意のまちづくりの検討が進められています。
- 令和元年台風第19号において、6,000人以上の方が避難所に避難するとともに、200軒を超える家屋が浸水被害等を受けた経験や教訓を生かし、近隣市と連携した浸水対策を着実に実施する必要があります。
- 市民意識調査では、「交通機関」、「日常の買物の便利さ」、「公民館や図書館」に対する満足度が高く、生活面での利便性の良さが評価されています。

南部地域における市民満足度（令和4年度市民意識調査）



西部地域

西部地域のデータ

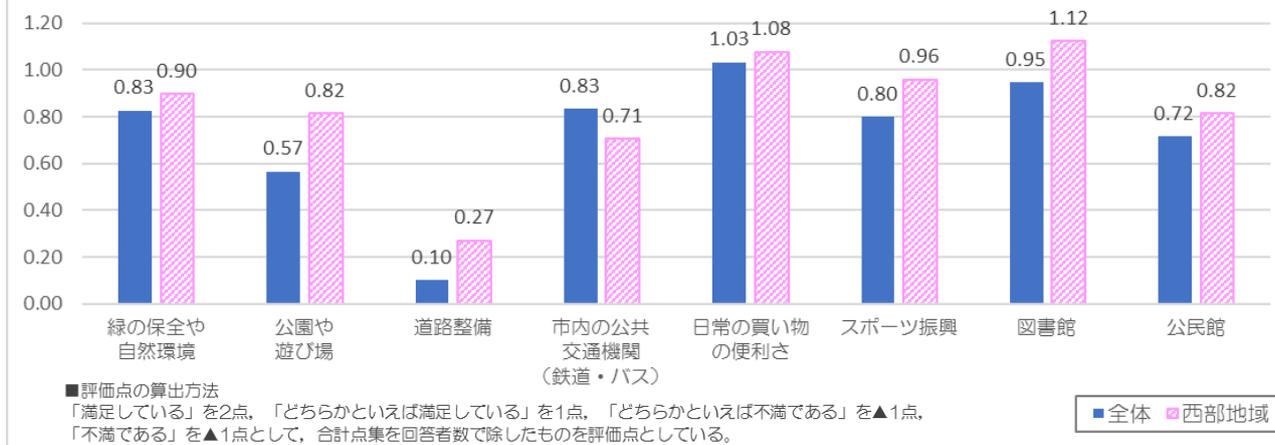


地域範囲	飛田給1～3丁目，上石原1～3丁目 富士見町1～4丁目，下石原1～3丁目 多摩川1～2丁目，野水1～2丁目，西町
地域人口	42,165人（令和5年1月1日現在）
地域世帯	21,528世帯（令和5年1月1日現在）

西部地域の現状と課題

- 西部地域は、北側に味の素スタジアム、武蔵野の森総合スポーツプラザ、武蔵野の森公園、調布基地跡地、野川公園など文化・交流の拠点が集積しており、南側には多摩川の豊かな自然環境を有する地域です。調布基地跡地は、土地利用計画に基づく施設整備により、様々な福祉施設、スポーツ施設等が広域的な交流拠点としての役割を担っています。
- 東京スタジアム（味の素スタジアム）と武蔵野の森総合スポーツプラザ及び武蔵野の森公園では、世界最大級のスポーツイベントであるラグビーワールドカップ2019日本大会及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されました。競技会場を含むエリアについては、大会開催を象徴する場所として「武蔵野の森オリンピック・パラリンピックパーク」と名付けられ、大会の感動と記憶を後世に永く伝えられることになりました。
- 京王線の駅周辺では、地域住民の日常生活の利便性の向上や地域の特性を生かしたまちづくりを進めています。公共交通の更なる利便性の向上については、バス事業者と協議し、調布市ミニバス（コミュニティバス）西路線の維持・充実を図るとともに、シェアサイクルの活用を促進します。
- NEXCO中日本株式会社による中央自動車道の耐震補強等に伴い、西調布体育館や西部ふれあいの家をはじめとする公共施設の移転（更新）等が求められており、市民や利用団体の施設利用に最大限配慮しながら、取組を進める必要があります。
- 市民意識調査では、「道路整備」に対する満足度が他の地域と比べて高く、身近な都市基盤整備の着実な進行により、地域の市民の利便性の向上につながっています。

西部地域における市民満足度（令和4年度市民意識調査）



西部地域におけるまちづくりの方向

◆ラグビーワールドカップ2019及び東京2020大会のレガシーの継承・発展

武蔵野の森総合スポーツプラザや味の素スタジアム、また、味の素スタジアム内に整備された東京都パラスポーツトレーニングセンターをはじめとするスポーツ施設を活用し、障害者スポーツを含むスポーツ振興を図るとともに、スポーツ振興を通じた地域の活性化を図ります。

◆第七機動隊跡地を活用した公共施設機能の移転・更新

公私連携型保育所制度を活用した公立保育園の民営化と合わせた移転・更新に加え、図書館機能の移転・更新について、国をはじめとする関係機関との協議・調整を行いながら、取組を検討・推進します。

◆調布基地跡地（留保地）の活用に関する取組

調布基地跡地の留保地（国有地）の活用については、既存の利用計画策定以降の周辺地域における施設整備等の状況の変化や民間活力の活用をはじめとする市の公共施設マネジメントに関する基本的な方針などを踏まえ、多角的な視点から検討・整理し、国との協議・調整を行います。

◆駅周辺の整備

西調布駅周辺では、駅南側の都市計画道路の整備により、交通結節機能の向上を図るとともに、地区の特性に応じたまちづくりを推進します。

◆緑地・公園の整備と歴史的文化財との一体的な活用

布田崖線に位置する若宮自然広場及び凸凹山児童公園の整備を進めます。あわせて、国登録有形文化財（建造物）である真木家住宅のある隣接地を含めた一体的な活用を検討していきます。



「この地形図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺 1/2500 地形図を使用して作成したものである。」

